

本学定期刊行物総目次(四)

一橋大学研究年報

一橋学会編・勁草書房

商学研究 13

経済世界像の構造に関する覚え書……………高橋泰藏 一

——経済発展の理論へのため——

保険経済における目的と手段……………広海孝一 三

——生命保険についての技術的批判の試み——

「ダンテリシエル」成立より大戦終結に至るヨーロッパ石油業界を廻って……………米川伸一 一七

「ノルドジークおよびコジオールの組織論」……………田島壮幸 二五

「独立派生経営」に関する一考察……………佐藤正 三〇

——経営経済学の対象に関するニククリッシュ学説の検討——

経済学研究 13

所得連関乗数の理論と計測……………宮沢健一 一

——所得分配の地域間依存構造への適用——

一九世紀英領グジャラートにおける「分有村落」の構造……………深沢宏 八

財政収支の循環変動パターンの分析……………石弘光 二〇

新古典学派の分配理論……………美濃口武雄 二六

——加重問題の学説史的展望——

社会学研究 10

『東京地学協会報告』(明治二二—三〇年)……………石田龍次郎 一

——明治前半の日本地理学史資料として——

日本軍隊における革命と反革命……………藤原彰 全

労働力と経済成長……………美濃口時次郎 三五

転換期の教育学……………鈴木秀勇 一七

J・J・ルソー『エミール』分析試論——(一)・III・IV

自然科学研究 11

代謝系の安定性と制御に関する数理……………杉田信元 一

化学発光の応用……………岩城良次郎 壹

ディオファントスの述語について……………永島孝 壹

第六十卷六号に掲載の「本学定期刊行物総目次(三)」のうち、「商学研究11」を次のように訂正する。

商学研究 11・12

「金利および金融機関の規模」覚書……………小泉明 一

——金融制度調査会民間金融機関に関する特別委員会第二回中間報告をめぐって——

ロイズ保険証券様式の形成……………	木村 栄一	四	四〇
ダッチリシエルの成立……………	米川 伸一	一	三九
——ダッチリシエル前史——			

経済研究

一橋大学経済研究所編・岩波書店

経済研究一九卷四号

論文

A. Smith のドイツへの導入……………	松川 七郎	四	四〇
——その初期における若干の事例——			
ポーランドの計画管理制度をめぐって……………	竹浪 祥一	四	三九
——経済学者の所説を中心に——			
予算編成と経済計画……………	江見 康一	四	三九
市場需要関数と資産、期待価格……………	渋谷 行雄	四	三九
有業者数の新推計一八七一—一九二〇年……………	梅村 又次	四	三三
調査			
イギリスの資本輸出と植民地……………	山田 秀雄	四	三〇
学界展望			
『資本論』第一部刊行一〇〇年にあたっての評価……………	種 瀬 茂	四	三二
——ドイツ、ソヴェト、英米——	高須 賀義博		

寄 書

宮本義男

The Nakamura versus the LTFS Estimates of the Growth

Rate of Agricultural Production.....James I. Nakamura

一九

四

三六

バイオニックスの数理と経済学.....

杉田元宜

一九

四

三三

書 評

置塩信雄『蓄積論』.....

鶴田満彦

一九

四

三六

高須賀義博『再生産表式分析』.....

安部一成

一九

四

三七

新開陽一『経済変動の理論』.....

浜田宏一

一九

四

三三

田中修『農業の均衡分析』.....

増井幸夫

一九

四

三三

宮沢健一・他『地域経済の基礎構造』.....

溝口敏行

一九

四

三三

労働省大臣官房労働統計調査部編『地域労働力の計量分析』.....

西川俊作

一九

四

三三

社会保障研究所『戦後の社会保障』.....

肥後和夫

一九

四

三三

古島敏雄他編『日本科学技術史大系・第二巻・農学I』.....

沢田収二郎

一九

四

三三

経済研究二〇巻一号

論 文

道路対鉄道問題の経済学的考察.....

都留重人

二〇

一

一

——いむゆるローカル線廃止問題に関連して——

「資本費用論争」の再検討.....

小泉進

二〇

一

一〇

(115) 本学定期刊行物総目次

第一次大戦前のダッチリシエル・グループ……………	米川伸一	二〇	一	六
——古典的カルテルの時代——				
アメリカにおける経済力集中の新動向と反独占政策……………	佐藤定幸	二〇	一	三
——conglomerate merger と合併規制ガイドラインをめぐって——				
社会主義経済における計画と市場……………	岡 稔	二〇	一	六
調査				
戦前における台湾の経済成長……………	石川 滋	二〇	一	七
篠原三代平				
溝口敏行				
寄 書				
大川一司・篠原三代平・梅村又次編				
『長期経済統計—推計と分析』について……………	渡部 経彦	二〇	一	七
	中村 隆英			
	山口 和雄			
	高須賀義博			
「貨幣論」的インフレーション論の問題点……………		二〇	一	七
書 評				
辻村江太郎『消費構造と物価』……………	木下宗七	二〇	一	八
岡崎栄松『資本論研究序説』……………	杉原四郎	二〇	一	八
江見康一・溝口敏行『個人貯蓄行動の国際比較』……………	野田 孜	二〇	一	八
都留重人『経済発展論集』……………	Michael L. Hoffman	二〇	一	八

經濟研究二〇卷二号

論 文

小島清・島野卓爾・渡部福太郎『經濟成長と貿易構造』……………	中内恒夫	二〇	一	六
隅谷三喜男『日本石炭産業分析』……………	篠原三代平	二〇	一	六
有沢広巳・内藤勝編『労働市場の長期展望』……………	南亮進	二〇	一	六
高橋哲雄『イギリス鉄鋼独占の研究』……………	山本秀雄	二〇	一	六

趨勢加速とそのメカニズム……………	大川一司	二〇	二	七
-------------------	------	----	---	---

——数量經濟史的アプローチ——

技術進歩と廃棄過程……………	置塩信雄	二〇	二	一〇四
現代の価格上昇メカニズムとインフレーション理論……………	安部一成	二〇	二	一〇三
不完全競争と均衡成長……………	二階堂副包	二〇	二	一〇九
日本統治下における台湾の労働經濟……………	尾高焯之助	二〇	二	一〇六

調 査

ニュー・エコノミクスとアメリカの經濟政策……………	伊東政吉	二〇	二	一〇四
---------------------------	------	----	---	-----

——長期繁榮の分析——

学 界 展 望

SNA改訂の意義と問題……………	寒川達也	二〇	二	一〇九
------------------	------	----	---	-----

倉林義正  
安藤登

(117) 本学定期刊行物総目次

	地租改正研究の現段階……………	中村政則	二〇	二	一六
	高須賀義博『貨幣論』的インフレーション論の問題点』に たいする Rejoinder……………	飯田繁 岡橋保	二〇 二〇	二 二	一五
	書 評				
	経済学史学会編『資本論』の成立……………	高島善哉	二〇	二	一八
	塩野谷九十九『金融政策と物価水準』……………	小泉明	二〇	二	一八
	池田健『国際金融協力論——戦後の国際金融協力関係の発展 と国際流動性問題の将来』……………	緒田原涓一	二〇	二	一八
	松永嘉夫『外貨準備と経済成長』……………	渡辺太郎	二〇	二	一五
	高橋亀吉『日本近代経済形成史第一〜三巻』……………	江見康一	二〇	二	一五
	米沢秀夫『中国経済論』……………	小島麗逸	二〇	二	一六
	田中正司『ジョン・ロック研究』……………	羽鳥卓也	二〇	二	一六
	経済研究二〇巻三号				
	社会保障の財政機構……………	高橋長太郎	二〇	三	一五
	マルクスにおける市民社会の概念について……………	平田清明	二〇	三	一〇〇
	国際分業論…展望……………	山澤逸平	二〇	三	一〇九
	わが国の通貨供給と金融政策……………	蠟山昌一	二〇	三	二九

——理論的考察——

農業生産関数と技術進歩……………南 亮 進 二〇 三

調 査

インフレーションの基礎カテゴリー……………高須賀義博 二〇 三

——価値尺度機能を中心として——

寄 書

最近の著書をめぐるる社会資本論……………加 藤 寛 二〇 三

成長惰性仮説の吟味……………篠原三代平 二〇 三

過当競争について……………中 村 精 二〇 三

書 評

桜井毅『生産価格の理論』……………松 石 勝 彦 二〇 三

『現代の経済と統計——蟠川虎三先生古稀記念』……………米 沢 治 文 二〇 三

尾崎彦朔編著『低開発国政治経済論』……………行 沢 健 三 二〇 三

後藤信一『本邦銀行合同史』・竹沢正武『日本金融百年史』……………朝 倉 孝 吉 二〇 三

森章『ソビエト減価償却論』……………竹 村 欣 也 二〇 三

浅田喬二『日本帝国主義と旧植民地地主制』……………加 藤 幸 三 郎 二〇 三

鈴木金三『銀行行動の理論』……………江 口 英 一 二〇 三

宮川公男『意志決定の経済学』……………西 川 俊 作 二〇 三



# HITOTSUBASHI JOURNAL

## HITOTSUBASHI JOURNAL OF ECONOMICS Vol. 9 No. 2 February 1969

Trade Preferences for Developing Countries: A Japanese Assessment .....	<i>Kiyoshi Kojima</i>	1
Time-Series Analysis of the Consumption Function in Japan by Occupational Group .....	<i>Toshizuki Mizoguchi</i>	13
Some Problems of Population Movements in China under the Tang Dynasty (I) .....	<i>Manabu Nakagawa</i>	35
Factor-Proportions Theory Reconsidered .....	<i>Ippei Yamazawa</i>	43
A Note on the Life-Cycle Pattern of Saving in Japan .....	<i>Tuvia Blumenthal</i>	61

## HITOTSUBASHI JOURNAL OF ECONOMICS Vol. 10 No. 1 June 1969

Asian Developing Countries and PAFPA: Development, Aid and Trade Preferences .....	<i>Kiyoshi Kojima</i>	1
The Structure of Income Redistribution within the Framework of an Extended System of National Accounts .....	<i>Yoshimasa Kurabayashi</i>	18
Indices of the Excess Demand for Labor in		

(119) 本学定期刊行物総目次

Prewar Japan, 1929-39 : A Preliminary Study ..... *Konosuke Odaka* 33

Japan's Dependence on Exports in Contrast with That of Six Other Nations ..... *Matthew D. Forrest* 56  
*Kunio Yoshikawa*

**HITOTSUBASHI JOURNAL OF SOCIAL STUDIES Vol. 5 No. 1 (Whole Number 5)**

April 1969

*Articles*

Beobachtungen eines Philologen über die Tennoherrschaft

——Zum 100-jährigen Jubiläum der Meiji—— ..... *Takashi Kanets* 1

Marxian Theories of Social Classes ..... *Tokiyiro Kameguchi* 44

The Tragic Value ..... *Yoshiaki Fukaya* 59

**HITOTSUBASHI JOURNAL OF ARTS & SCIENCES Vol. 10 No. 1 (Whole Number 10)**

September 1969

*Articles*

Some Legal Aspects of Psychosurgical Treatment

——With Particular Reference to the Removal of ..... *Tadashi Uematsu* 1

Criminal Tendencies ..... *Tadashi Uematsu* 1

The Development of *When* as Subordinate Conjunction

or Relative Adverb ..... *Kikuo Yamakawa* 8

The Question of Defining Aggression .....	Takeshi Minagawa	43
Formal Power Series and Additive Number Theory .....	Setsuo Ozari	53
<i>Notes</i>		
On Elimination in Boolean Algebra .....	Sergiu Rudeanu	74

ビジネス レビュー

一橋大学産業経営研究所・ダイヤモンド社

ビジネス レビュー 一六卷二号

組織論

経営組織のシステム観について.....	山本純一	一六卷	二二	二四
ドイツ経営組織論展開の一つの方向.....	田島壮幸	一六	二二	二四
適正管理範囲の決定について.....	森本三男	一六	二二	二六
大規模組織と革新.....	高柳 暁	一六	二二	二〇
<i>研究ノート</i>				
経営システムにおける意思決定について.....	小笠原 暁	一六	二二	二〇
公企業会計の基礎的問題点の吟味と展望(I).....	西川 義朗	一六	二二	二五
<i>文 献</i>				
経営学文献目録(昭和四三年三月一日~五月三十一日).....	資料室	一六	二二	二五

ビジネス レビュー 一六卷三号

企業金融

企業危険と株式資金コスト	田村茂	一六	三	二
わが国における企業間信用の機能と実態	山下邦男	一六	三	四
個人の金融資産構造と中小企業金融機関	花輪俊哉	一六	三	四

論文

情報の経済学と情報のマネジメント(1)	今井賢一	一六	三	六
---------------------	------	----	---	---

研究ノート

公企業会計の基礎的問題点の吟味と展望(2)	西川義朗	一六	三	五
企業金融に及ぼす信用創造の影響力についての若干の問題点	速水保	一六	三	五

文献

経営学文献目録(昭和四三年六月一日〜八月三十一日)	資料室	一六	三	三
---------------------------	-----	----	---	---

ビジネス レビュー 一六卷四号

アメリカ会計学の動向

情報研究としての会計	吉田寛	一六	四	二
会計情報識別の基準	大島美留	一六	四	三
—— A A A 「基本的会計理論」の論理的構造——				
キャパシティ・コストの管理	岡本清	一六	四	三

論文

「セメント製造会社」(小野田セメント株式会社の前身)の  
 経営者意識……………藤津清治 一六

——營利をめぐる士族経営者の意識構造——

研究ノート

アメリカ財務会計方法論の展開……………藤田幸男 一六

——H・T・ダインツァーの所説を中心として——

展望

経営学の現代的課題

——日本経営学会第四二回大会報告をめぐって——

I 経営学の本質と課題……………雲嶋良雄 一六

II 経営管理の基本問題……………岡本康雄 一六

文献

経営学文献目録(昭和四三年九月一日～一月三〇日)……………資料室 一六

ビジネスレビュー 一七卷一号

商品学の展開

製品開発と商品学の役割……………北原三郎 一七

商品流通と流通効率……………田島義博 一七

消費者問題と商品学の役割……………水野良象 一七

論文

情報の経済学と情報のマネジメント(2)……………今井賢一 一七

研究ノート

公企業会計の基礎的問題点の吟味と展望(3)……………西川義朗 一七

資料

複写技術の進歩……………岩城良次郎 一七

文献

経営学文献目録(昭和四三年一月一日～四四年二月二八日)……資 料 室 一七

言語文化

一橋大学語学研究室

言語文化 第五号

論 説

Black Humor の世界の住人たち……………平野信行 五号 三頁

Heine の Saint-Simonisme……………宮野悦義 五号 三頁

ブレーズ・バスカル『パンセ』における〈政治学〉と〈想像力〉……広田昌義 五号 三頁

研究ノート

英語 Intonation についての一考察……………永井みち子 五号 三頁

ドライデンとポーブ——ロマン派への前提……………菊池 亘 五号 三頁

書 評

Cola Minis : <i>Handschrift, Form und Sprache des Maspöli</i> .....	橋本郁雄	五	七
Jan Ate van Ek : <i>Four Complementary Structures of Predication in Contemporary British English</i> .....	山川喜久男	五	七
: <i>An Inventory</i> .....	青木順三	五	六
Hermann Hesse/Thomas Mann : <i>Briefwechsel</i> .....	河村錠一郎	五	一〇一
ある想像力説のために ——G・H・ミラーン著『蠟燭の焰』 .....			